

福島原発事故から11年、現実を知り！そして広める！

2022年1月12日、JR東海労新幹線関西地本は京都大学複合原子力科学研究所研究員の今中哲二さんとの勉強会を開催しました。

勉強会は「原爆と原発」「ついに起きた最悪の事態：チェルノブイリと福島」「福島第一原発を40年で廃炉は幻のスローガン」「誰が、何が、何のために日本の原子力を進めてきたのか」でした。

今中さんは、当時、3月15日の飯館村長泥地区の夜は毎時約200 μ Svで有り、「夜に白装束の人たちが車で来て放射線を測ったが、数字を教えてくれない」と住人から聞いた。

経済性も破綻してる原子力発電。誰が何のために日本の原子力を進めているのか等、普段聞かれ得ない事を述べられ、参加者全員から質問が出て活発な意見交換の場となりました。地本OBの他に、本部から畑野副委員長、松山共闘部長、摂津教組OGの方も参加し有意義な勉強会となりました。

